

# 令和2年度学校評価結果

令和2年3月

<p>本年度の 学校重点目標</p>	<p>生徒の適性を的確に把握して、その能力と個性を尊重し、特に次の三つの人間像を中核として、心身ともに健康な青年を育成する。 ア 自主性に富み意志強固な人間（自主・剛健） イ 正義を愛する誠実勤勉な人間（正義・誠実） ウ 真理を愛する知性の高い人間（知性・教養）</p>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	自己評価
<p>生活指導 (生徒指導部) (各学年会)</p>	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の励行</li> <li>・身だしなみ指導の充実</li> <li>・交通安全意識の高揚</li> <li>・適正な部活動指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶ができていない場面が増えてきた。</li> <li>・落ち着いて学校生活を送っているが、一部ネクタイのゆるみ等も見られた。</li> <li>・送迎車のマナーについて近隣から危険性を指摘されることがあった。生徒の登下校のマナーについてしっかり指導をしていく。</li> <li>・部活動の活動方針にしたがい活動した。練習予定を生徒・保護者に配布した。</li> </ul>
	<p>いじめの早期発見、適切な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査等によるいじめの早期発見と適切な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果に基づき学年会で対応した。継続的に指導していく案件もある。今後も生徒の行動を注視していく。</li> </ul>
<p>学習指導 (教務部) (各学年会) (各学科) (各教科会)</p>	<p>主体的な学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別クラス編成を生かした学習指導の充実</li> <li>・個々の生徒の習熟度に応じた学習指導の充実</li> <li>・基本的授業習慣の確立</li> <li>・学習環境の整備</li> <li>・課題と予習・復習による家庭学習の習慣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や授業内容は習熟度に応じて実施できた。総合ビジネス科・生活文化科では主体的な学びを工夫した。</li> <li>・情報交換はしっかりできた。成績不振者に対して積極的に指導をした。考査前に学習会や長期休業後の学習会も実施した。</li> <li>・学習時間調査や学習計画表を活用し、継続的に指導した。</li> <li>・清掃活動や美化活動は良好であった。</li> <li>・家庭学習を増やすことができたが、一部では学習習慣が定着できなかった。課題の提出ができない生徒に対して学習会を実施し、効果をあげた。</li> </ul>
<p>進路指導 (進路指導部) (各学年会)</p>	<p>進路意識の高揚と学ぶ意欲の喚起</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路相談の充実</li> <li>・キャリア教育の実践</li> <li>・模試結果等の活用</li> <li>・大学入試新制度の研究</li> <li>・情報収集・情報発信の充実</li> <li>・国際交流活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面接に加え、進路に関する担任面談を行い進路意識を向上させた。</li> <li>・大学企業見学会・進路講演会等で自分の将来について考える機会を設けた。</li> <li>・模試結果を全職員に報告し、今後の指導に役立てた。結果の情報提供がやや遅れた。</li> <li>・外部の研究会にも参加し情報収集に努めたが、新制度の急な変更があった。</li> <li>・進路の行事やオープンキャンパス等に積極的に参加した。</li> <li>・スコット高校短期研修のリーフレットの更新を行った。</li> </ul>
	<p>多忙化の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間労働の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や部活動の工夫により改善に努めた。</li> </ul>
<p>今後の改善方策について</p>	<p>生活指導については、身だしなみは概ね良好であったが、冬服のネクタイのゆるみ等全教員で指導していく。公共マナー・交通安全に関する注意はしっかり行う必要がある。人間関係において心配な面も見られたので、注意深く観察し、継続的に指導する。支援の必要な生徒については、学年を越えた全教員での情報の共有や連携をしていく。 学習指導については、多様化している生徒に適した学習指導を各教科と学年会で連携し、継続的に行う。学習会の実施や適正な課題等で学習習慣を定着させるとともに、授業の工夫により主体的な取組を促す。また、年間学習指導計画については継続的に見直していく。 進路指導については、個人面接・キャリア教育等様々な面で、各学年・進路部・教務部が連携を図り、充実を目指す。進路情報の発信を増加させる。</p>		